

アキュレート™ 分画 ABHK寒天 / BBE寒天

嫌気性菌の中でも分離頻度の高い *Bacteroides fragilis* group を効率良く選択分離できます。

特長

- [A面] ABHK寒天培地 (※反対側参照)
- [B面] BBE寒天培地
- *Bacteroides fragilis* group を効率良く選択分離できます。

BBE寒天培地の発育例

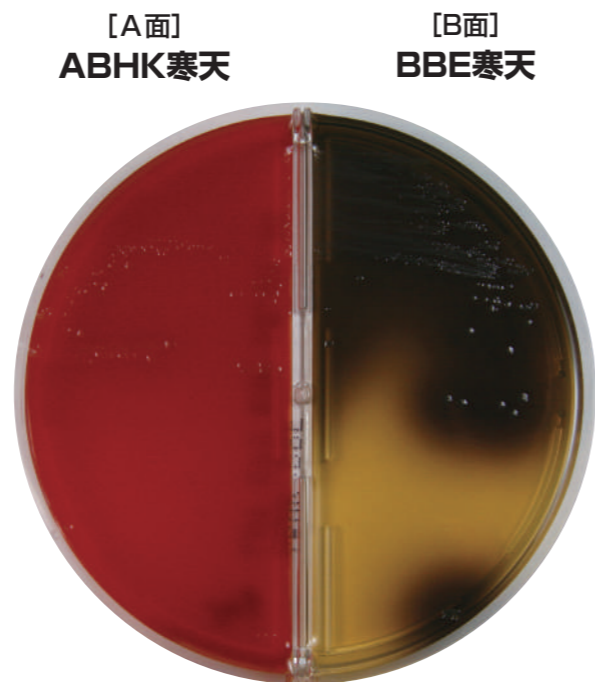
- *B. fragilis* group は、培地中に含まれるエスクリンを加水分解することで集落とその周辺を黒変させます。
- 培地中に含まれる選択剤 (ウシ胆汁とゲンタマイシン) により通性嫌気性菌と *B. fragilis* group 以外の嫌気性菌は、概ね発育が抑制されます。
- *B. fragilis* group 以外にも *Fusobacterium varium*、*F. mortiferum*、*Bilophila wadsworthia* 等が発育します。

使用上の注意

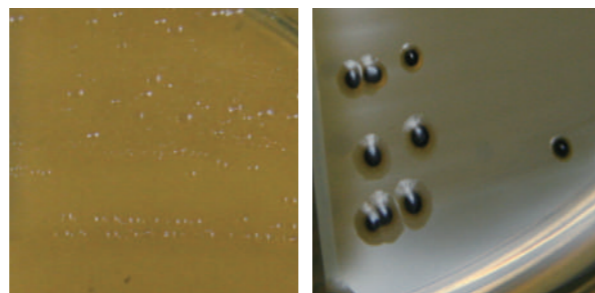
- 嫌気性菌は、酸素に触れると急激に菌数が減少しますので、検体採取後は速やかに培地に接種し、嫌気培養を行って下さい。
- 本培地は、そのまま使用することは可能ですが、培地表面が凝固水で湿っているときには乾燥させてからご使用下さい。

培地の使用法

- 本培地は無菌的に調製され、脱酸素剤で嫌気状態になっていますので、そのまま嫌気培養に使用可能です。  
酸素検知剤が青色の場合は、培地を常温に戻してからピンク色になる事を再確認してください。



*Bacteroides fragilis*



*F. varium*

*B. wadsworthia*

品名	製品コード	包装	使用期限
アキュレート™ 分画 ABHK寒天 / BBE寒天	51042	10枚	製造後3か月間

※冷暗所(4~10℃)保存・禁凍結



◀価格表はこちら!

製造販売元  
島津ダイアグノスティクス 株式会社

お問い合わせ先: カスタマーサポート 担当  
TEL: 03 (5846) 5707  
E-mail: support@sdcs.shimadzu.co.jp  
URL: https://corp.sdc.shimadzu.co.jp/

臨床診断薬分野 医療関係者向けサイト  
https://clinical-diagnostics.biz.sdc.shimadzu.co.jp/



アキュレート™ ABHK寒天培地  
アキュレート™ 分画 ABHK寒天 / NV加ABHK寒天

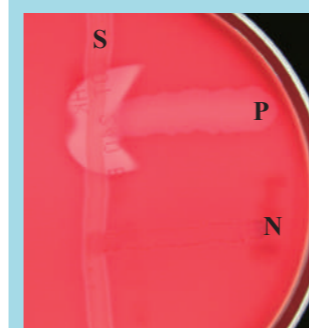
嫌気性菌を効率良く分離することができます。

特長

- ABHK寒天培地は、ヒツジ・ウサギ脱繊維血液を併用した嫌気性 (Anaerobic) 血液寒天 (Blood agar) です。また、ヘミン (H) とビタミン K1 (K) を含みますので嫌気性菌全般の分離培養ができます。
- NV加ABHK寒天培地は、ナリジクス酸 (N) とバンコマイシン (V) が添加されていますので効率的に嫌気性グラム陰性桿菌を選択分離できます。

発育例

- 黒色色素産生菌 (*Prevotella* 属や *Porphyromonas* 属) の発育は良好で、黒色集落を形成します。
- *Clostridium* 属や *Fusobacterium* 属等は特異的な集落を形成します。
- ABHK寒天培地では、*C. perfringens* の逆CAMP試験が可能です。



逆CAMP試験

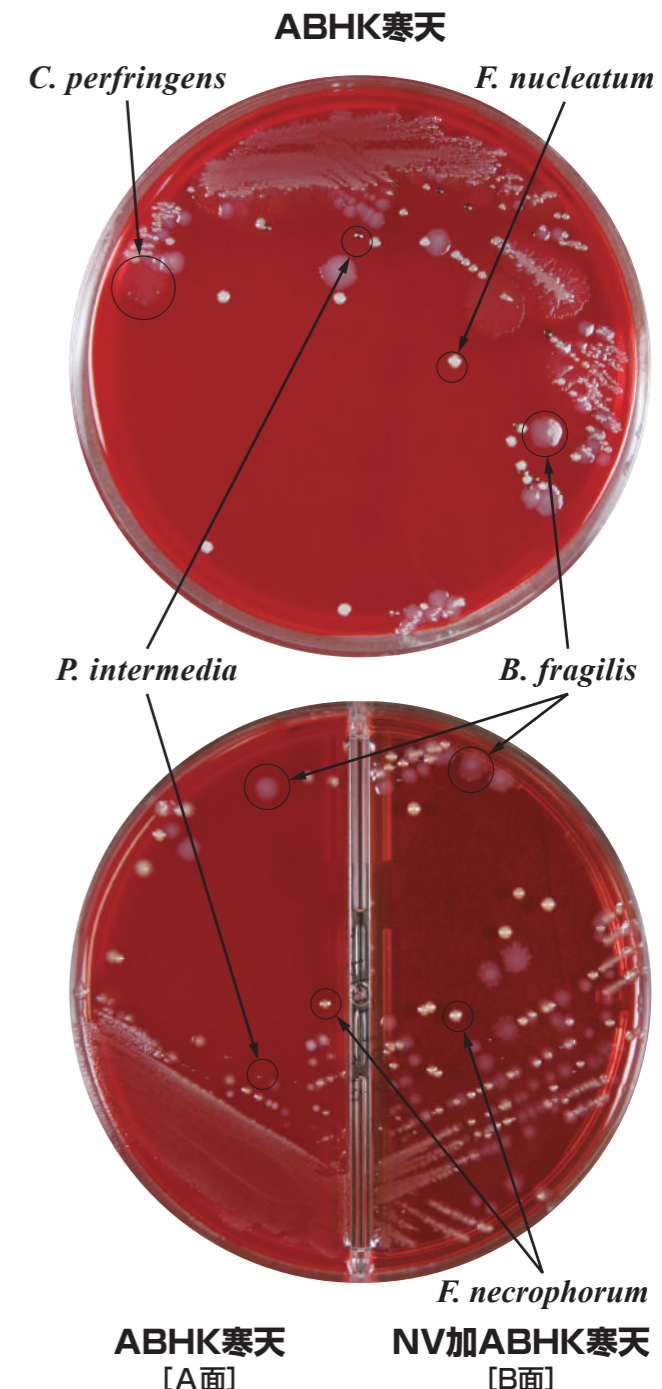
S: *S. agalactiae*  
P: *C. perfringens*  
N: *C. sordellii* 等  
35±2℃で2日間嫌気培養し、*C. perfringens* と *S. agalactiae* の交差部分における溶血性の増強を評価した例です。  
[*C. perfringens* の鑑別法]

使用上の注意・培地の使用法

- 嫌気性菌は、酸素に触れると急激に菌数が減少しますので、検体採取後は速やかに培地に接種し、嫌気培養を行って下さい。
- 本培地は無菌的に調製され、脱酸素剤で嫌気条件下にされていますので、そのまま嫌気培養に使用可能です。  
酸素検知剤が青色の場合は、培地を常温に戻してからピンク色になる事を再確認してください。

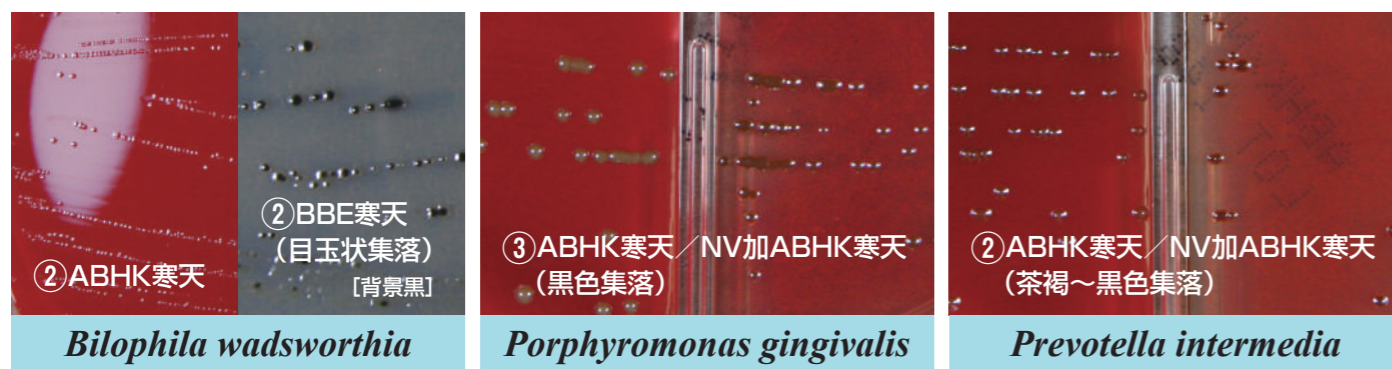
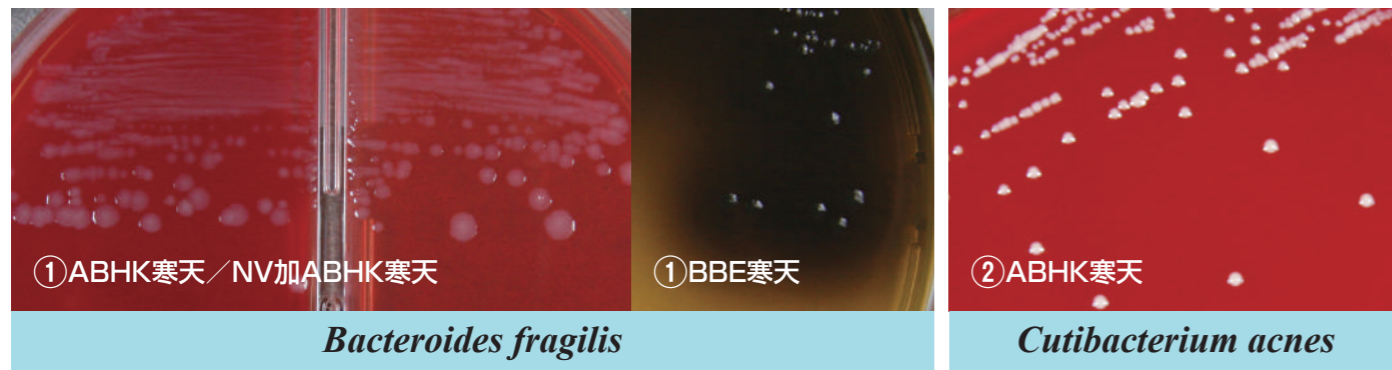
品名	製品コード	包装	使用期限
アキュレート™ ABHK寒天培地	51040	10枚	製造後120日間
	50028	100枚	
アキュレート™ NV加ABHK寒天培地	51041	10枚	製造後3か月間
アキュレート™ 分画 ABHK寒天 / NV加ABHK寒天	51043	10枚	

※冷暗所(4~10℃)保存・禁凍結



◀価格表はこちら!

嫌気性菌の発育例



- ① [ 培養条件 : 35±2℃、2日間、嫌気培養 ]
- ② [ 培養条件 : 35±2℃、3日間、嫌気培養 ]
- ③ [ 培養条件 : 35±2℃、4日間、嫌気培養 ]

注) 培養時間によって、上記と異なる集落を形成する場合があります。  
 ABHK寒天培地 (NV加ABHK寒天培地) 上の集落の黒色化は、培養時間を延長すると強化され確認しやすくなりますが、菌種によっては蛍光色素の産生により黒色が淡くなる場合があります。また、BBE寒天培地上のエスクリン反応は培養時間を延長することで反応が進み、集落の黒色化が強くなります。

NV加ABHK寒天培地とBBE寒天培地の性能

○NV加ABHK寒天培地の性能

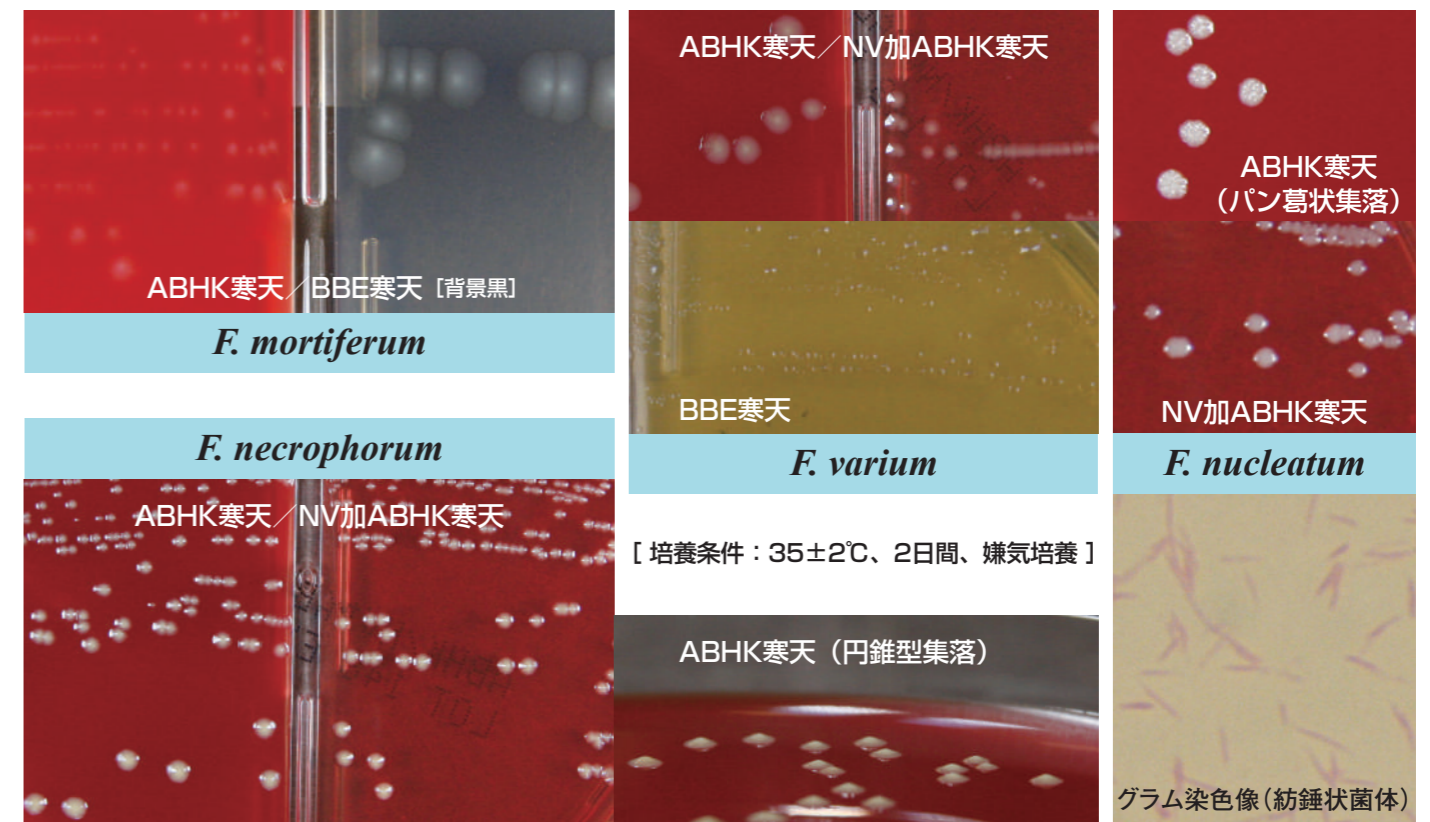
菌種	発育性
<i>Porphyromonas levii</i>	+
<i>Porphyromonas gingivalis</i>	±
<i>Porphyromonas endodontalis</i>	+
<i>Porphyromonas asaccharolytica</i>	±
<i>Fusobacterium varium</i>	+
<i>Fusobacterium nucleatum</i>	+
<i>Fusobacterium necrophorum</i>	+
<i>Campylobacter ureolyticus</i>	+
<i>Campylobacter gracilis</i>	+
<i>Bacteroides fragilis</i>	+
<i>Parabacteroides distasonis</i>	+
<i>Prevotella bivia</i>	+
<i>Prevotella intermedia</i>	+
<i>Prevotella melaninogenica</i>	+
<i>Prevotella corporis</i>	+
<i>Veillonella parvula</i>	-
<i>Peptostreptococcus anaerobius</i>	-
<i>Peptoniphilus asaccharolyticus</i>	-
<i>Lactobacillus acidophilus</i>	-
<i>Bifidobacterium pseudolongum</i>	-
<i>Eggerthella lenta</i>	-
<i>Clostridium perfringens</i>	-
<i>Clostridioides difficile</i>	-
<i>Escherichia coli</i>	-
<i>Klebsiella pneumoniae</i>	-
<i>Streptococcus pyogenes</i>	-
<i>Staphylococcus aureus</i>	-
<i>Enterobacter cloacae</i>	-
<i>Serratia marcescens</i>	-
<i>Enterococcus faecalis</i>	±

○BBE寒天培地の性能

「+」:発育・陽性、「±」:菌株により発育、「-」:抑制・陰性

菌種	発育性	
	20%胆汁耐性	エスクリン加水分解
<i>Bacteroides fragilis</i>	+	+
<i>Bacteroides thetaiotaomicron</i>	+	+
<i>Bacteroides vulgatus</i>	+	-
<i>Bacteroides ovatus</i>	+	+
<i>Bacteroides eggerthii</i>	+ (弱)	+
<i>Parabacteroides distasonis</i>	+	+
<i>Campylobacter ureolyticus</i>	-	-
<i>Campylobacter gracilis</i>	-	-
<i>Prevotella melaninogenica</i>	-	-
<i>Prevotella intermedia</i>	-	-
<i>Segatella buccae</i>	-	-
<i>Prevotella corporis</i>	-	-
<i>Prevotella bivia</i>	-	-
<i>Hoylesella oralis</i>	-	-
<i>Bilophila wadsworthia</i>	+	-
<i>Fusobacterium nucleatum</i>	-	-
<i>Fusobacterium necrophorum</i>	-	-
<i>Fusobacterium varium</i>	+	-
<i>Fusobacterium mortiferum</i>	+	+
<i>Fusobacterium ulcerans</i>	+	-
<i>Porphyromonas gingivalis</i>	-	-
<i>Porphyromonas asaccharolytica</i>	-	-
<i>Porphyromonas endodontalis</i>	-	-
<i>Clostridium</i> spp.	-	-
<i>Bifidobacterium</i> spp.	-	-
<i>Eubacterium</i> spp.	-	-
<i>Propionibacterium</i> spp.	-	-
<i>Lactobacillus</i> spp.	-	-
<i>Peptostreptococcus</i> spp.	-	-

*Fusobacterium* spp. の発育例



[ 培養条件 : 35±2℃、2日間、嫌気培養 ]